

施策番号	21
------	----

## 施策評価シート（評価対象年度：令和元年度）

基本政策	4	生活基盤
施策名	21	地域交通
10年後のまちの姿	○道路網の整備と交通手段の確保により、誰もが行きたい所へ気軽に移動できるまちになっています。	
施策展開の基本的な考え方	行政は、市内における円滑で快適な移動を担保するため、道路交通基盤の整備や維持管理、公共交通の確保に努めます。市民等は、交通ルールやマナーを守るとともに、道路の維持管理や公共交通機関の利用に積極的に協力します。	
実現に向けた取組	①広域交通の利便性の向上 ②安全で快適な道路ネットワークの整備 ③冬期の移動を確保する除排雪の実施 ④地域公共交通の利便性の向上と持続可能性の確保	
施策担当課・係	地域整備課 管理係、地域整備課 都市計画建築係、地域整備課 土木係、総合政策課 企画政策係	
施策関係課・係		

### I 施策の実施状況

#### 1 施策全体の事業費

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費（千円）	1,535,720	1,122,588	530,051		
事務事業数	11	11	10		
うち、事務事業評価対象	9	8	8		

#### 2 成果指標の達成状況

指標	単位	基準値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和3年度 中間目標	令和8年度 最終目標
中条駅発着列車数（内書きは急行列車数）	本	83(33)	93(55)	92(54)	78(42)			83(33)	83(33)
市道の道路改良率	%	60.19	59.90	59.90	59.90			60.81	61.43
のれんす号の延べ利用者数〔年間〕	人	57,434	55,300	56,007	52,447			60,400	63,400

#### 3 施策の進捗状況

達成度	○ 概ね順調
達成度の判断根拠	市道の道路改良率が平成29年度から令和元年度まで増減がないのは、同改良率は数年ごとに算出しているためである。（令和2年度実施予定） 実際は、毎年、道路改良を実施しており、数値は微増している。
成果指標による現状分析	実際の市道の道路改良率は微増しており、令和3年度の中間目標に近づく見込みである。 交通手段に関しては、のれんす号の運行により誰もが行きたいところへ気軽に移動できるよう取組を進めてきている。令和元年度は利用者数が前年度を下回ったものの、暖冬小雪だったこと、コロナ感染拡大に伴う外出自粛が影響したものと分析している。

#### 4 取組の状況と今後の方向性

##### ① 広域交通の利便性の向上

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"><li>・中条駅西口周辺整備に当たっては、学生等の日常的な駅利用者だけでなく、遠方から胎内市を訪れる観光客にも対応できるよう公共交通事業者等と連携して事業を進めます。</li><li>・周辺市町村と連携してJR東日本に対し、列車運行の継続・拡充を要請していきます。</li></ul>
これまでの主な取組と実績
<ul style="list-style-type: none"><li>・利便性が高く快適な公共交通環境を整えるため、中条駅西口周辺整備事業を施行し平成30年度末までに予定していた全ての事業を完了している。</li></ul> 平成31年度から中条駅観光交流室を含め施設の一帯的管理を指定管理により実施 【供用開始】 駅舎・自由通路：平成30年7月 中条駅西口通り線・西口駅前広場：平成30年7月 中条駅観光交流室：平成31年4月1日 【施設管理】 平成31年4月1日から令和2年3月31日までの1カ年を試行的に指定管理方式により実施 ・毎年、県、県議会、市長会などで構成する新潟県鉄道整備促進協議会を通して、胎内市を含む沿線市町村等がJRに対し鉄道に関する要望を行っている。平成30年度、胎内市としては、列車の拡充や駅施設の環境整備等について要望した。
主な課題と今後の対応
整備した東西自由通路・駅前広場・中条駅観光交流室を指定管理制度を活用し効率且つ適切な管理を通して円滑な胎内市の交通結節点運営を行う

##### ② 安全で快適な道路ネットワークの整備

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"><li>・平時の利用状況や防災上の重要性等を考慮して市道の整備・改良・維持管理を計画的に行います。</li><li>・国や県に対して国道・県道や橋梁の整備・改良・維持管理が適切に行われるよう働きかけていきます。</li></ul>
これまでの主な取組と実績
<ul style="list-style-type: none"><li>・「橋梁維持事業」について、平成27年度から平成30年度までの4か年で、市道橋の維持管理のため、近接目視による橋梁点検を実施。</li></ul> 平成27年度 51橋点検、平成28年度 75橋点検、平成29年度 96橋点検 平成30年度 68橋点検予定 合計 290橋 点検結果による橋梁補修及び修繕工事実施状況 橋梁15メートル以上 8橋 橋梁10メートル以下 4橋 計 12橋 ・「道路維持管理事業」について、年々、道路補修等の作業が増加している。道路パトロール・各区長から寄せられた情報により速やかに補修対応を行っているが、対応が追いつかない状態である。市民の生活路でもある市道の維持管理等は、今後も重要な事業である。
主な課題と今後の対応
「橋梁維持事業」 ・令和元年度から令和5年度で、2巡目となり、計画及び詳細設計並びに道路橋点検を実施する。 <ul style="list-style-type: none"><li>・令和元年度→橋梁長寿命化計画を作成</li><li>・令和2年度→詳細設計業務委託</li><li>・令和3年度から令和5年度→橋梁点検を実施する。</li></ul> 「道路維持管理事業」 ・令和元年度より、週1回を目処に、市内全域の道路パトロールを実施することで、道路補修等を迅速かつ未然防止に努める。 ・道路パトロール手順書の作成を行う。 ・道路パトロール区域の選定を行う。

③ 冬期の移動を確保する除排雪の実施

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・除雪車による道路除雪を状況に応じ速やかに行います。</li> <li>・消雪パイプの整備、集落協働作業の支援等地域の実情に応じた対策に取り組みます。</li> </ul>
これまでの主な取組と実績
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「除排雪事業」について、機械除雪による除雪延長257.4km、委託業者55業者により実施。平成30年度の稼働台数の実績が延べ732台、令和元年度が41台の出動であった。</li> <li>・市道消雪パイプの路線は、122路線で総延長約41kmとなり、消雪井戸が94となっている。ノズルの老朽化により、消雪パイプ機能が果たせない路線も多く苦慮した。</li> </ul>
主な課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> <li>・海岸線・平野部・山間部と積雪量が異なるため、除雪出動基準の統一性が求められる。平成30年度に除雪マニュアルを作成した。今後は、今年度の教訓も踏まえ除雪マニュアルを見直していく。</li> <li>・融雪施設の老朽化により、漏水箇所が増加傾向であり対応に苦慮している。今後は、緊急性や公益性を見極めながら計画的に整備を行う。</li> </ul>

④ 地域公共交通の利便性の向上と持続可能性の確保

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・のれんす号の利便性向上に努め、利用者の増加を図ります。</li> <li>・スクールバスによる登下校、高齢者の外出支援や介護施設への送迎その他の交通手段との連携の方策を検討します。</li> </ul>
これまでの主な取組と実績
<ul style="list-style-type: none"> <li>・パンフレットを作成し、毎年度当初に全戸配布している。</li> <li>・利用促進を目的としたポスターを作成し、市内集会所などに掲載依頼を行った。</li> <li>・広告を掲載した。（市役所一般封筒、中条大祭朝刊広告）</li> <li>・更なる利用拡大のため、希望する地域のお茶の間サロンなどで、予約方法等ののれんす号の利用について説明する出前講座を開催している。（平成29年度1回開催、平成30年度2回開催、令和元年度7回開催）</li> <li>・望ましい公共交通の姿などを明らかにする、地域公共交通網形成計画を新たに策定するため、公共交通の現状分析に基づいて、平成30年度中に今後の公共交通の在り方などを検討し、令和元年度中に計画を策定した。</li> </ul>
主な課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少や高齢者の免許保有率上昇の中、のれんす号の利用者数を確保・維持していくためには、効率的で持続可能な運営が必要となってくる。そのことから、令和元年度に策定した地域公共交通網形成計画に基づいて、のれんす号の利便性向上や利用者の増加の取組、スクールバスとの連携など進めていくことで、地域公共交通の利便性の向上と持続可能性を確保する。</li> <li>・のれんす号の利用者数が伸び悩んでいるため、令和2年度にはのれんす号の利便性向上の取組について庁内検討チームによる検討を行う。</li> <li>・今後、国からの補助金が減っていくことが想定されるため、のれんす号の運行事業者、運営事業者とともに効率化に資する取組の検討を行う。</li> </ul>

5 施策の今後の方針

施策方針	○ 維持
施策方針に関する説明	<p>道路交通基盤の維持や整備に関しては、定期的な道路パトロール、橋梁点検や維持補修を実施し、良好な道路状況を維持する。また、冬期間については、除雪委託業者等と連携を図り、効率的な除雪作業を実施し、市民生活の安全・安心を確保する。</p> <p>誰もが行きたい所へ気軽に移動できるよう、のれんす号の利便性向上に取り組む。</p>

Ⅱ 施策を構成する事業等

事業 コード	事務事業名	R1		R2		達成度	施策目標 に対する 貢献	一次評価 今後の 方向性	二次評価 今後の 方向性	主な事業	担当課
		事業費	うち 一般財源	当初予算額	うち 一般財源						
450110	駅前広場・駐車場管理事業	14,234	12,031	12,804	12,643	◎	○	③	③	○	地域整備課
450210	鳥坂大橋維持管理事業	8,602	187	348	333	◎	○	③	③		農林水産課
450220	道路維持管理事業	42,541	42,541	30,428	14,975	○	○	③	③		地域整備課
450221	市道関係整備事業(土木係)	159,820	21,043	117,976	13,136	△	○	③	③	○	地域整備課
450223	市道関係整備事業(管理係)	64,116	3,262	97,700	4,100	×	○	③	③	○	地域整備課
450222	橋梁維持事業	11,228	7,378	28,295	10,045	◎	○	③	③		地域整備課
450310	除排雪事業	173,502	108,755	171,623	50,122	◎	○	③	③		地域整備課
450411	地域公共交通活性化事業	52,500	52,500	50,000	50,000	○	○	②	②	○	総合政策課

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

事業コード	450110		担当課	地域整備課	担当係	都市計画建築係				
事務事業名	駅前広場・駐車場管理事業		事業年度	令和元年度		会計区分	一般会計			
基本政策	4	生活基盤	事業コード	大	45	地域交通	予算科目	款	08	土木費
施策	21	地域交通		中	01	広域交通の利便性の向上		項	04	都市計画費
				小	10	駅前広場・駐車場管理事業		目	02	街路事業費
事務区分	法定受託事務		自治事務		○	根拠法令				
	法令による義務付け		任意			関連条例		関連計画		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	中条駅前広場を清掃し、冬期間は電飾することにより清潔に保ちながら、駅周辺のイメージアップにつなげる。駐車場を管理することにより、中条駅を利用する通勤・通学者の乗降客の利便性向上を図るとともに、駅周辺の違法駐車を減少させる。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・料金の請求、徴収</li> <li>・入出庫管理</li> <li>・精算機賃借、保守委託</li> <li>・冬の除雪</li> </ul>
実施方法	指定管理

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	4,009	5,829	14,234	12,804	
国・県支出金	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	
その他	4,009	5,327	2,203	161	
一般財源	0	502	12,031	12,643	
人件費（千円）	1,418	2,281	2,154		
正(h) ※事業費	530	1,000	1,000		
臨時(h) ※事業費	530	500	300		
総事業費+人件費	5,427	8,110	16,388		
財源「その他」内訳	・使用料 2,203千円				
事業費の主な支出内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理委託料 9,963千円</li> <li>・自由通路管理委託費 2,130千円（清掃・EV）</li> <li>・光熱水費 2,323千円</li> </ul>				

3 指標値の状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	定期利用可能台数	定期利用可能台数	管理施設数	指定管理者と管理運営方法に関する定例会議の実施	指定管理者と管理運営方法に関する定例会議の実施
	目標	50台	50台	9施設	12回	12回
	実績	50台	50台	9施設		
成果指標	名称	定期利用台数	定期利用台数	管理不備による発生事故件数	管理不備による事故発生件数	管理不備による事故発生件数
	目標	40台	43台	0件	0件	0件
	実績	44台	44台	0件		
	目標比	110.0%	102.3%	-		

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
達成度	◎	◎	◎		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
達成度の判定理由	指定管理により西口・東口一帯で管理を行うことで経費削減・効率化やサービス向上を実現。観光交流室を365日稼働させ利便性高い施設となっている。				

5 事業の点検項目

事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか	○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い	○				
	施策の目標に対してこの事業が貢献しているか	○				
	○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない					
類似した事業が実施されていないか	○：類似事業がない ×：類似事業がある	○				
	住民等の参画、協働は可能か	△				
	○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済					
民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か	○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	○				
	協働または民間への外部化が不可能な理由					
	事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か	△				
事業費や人件費に削減の余地はないか	○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要	△				
	○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり					
	受益者負担は事業コストに対して適正か	○				
効率性	○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない					
	単位コスト	算出方法				
	実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

東西駅前広場・東口駐車場及び中条駅周辺付随施設の経費の削減やサービス向上を目的とし、平成31年度より指定管理制度を導入し運営。
---

7 事業の方向性（案）

今後の方向性	③
課題 改及 革び 改今 善後 方 法 対 応	中条駅東口駐車場の利用率も高く公共交通機関の利用促進や駅周辺の利便性向上に寄与していると思われ、駐車場の整備は一定の効果をもたらしている。また、中条駅西口周辺整備事業に伴い西口広場の完成、東西自由通路の竣工により広場利用が分散化し、朝・夕の送迎混雑の解消された。

8 二次評価

今後の方向性	③																																				
所見	中条駅西口の駐車場の整備及び平木田駅の駐車場の有料化を検討する。																																				
成果の方向性	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>④</td> <td>②</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>⑤</td> <td>③</td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>⑥</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>⑦</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>拡大</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>	拡充	④	②	①	維持	⑤	③		縮小	⑥			休廃止	⑦			削減				縮小				維持				拡大				コスト投入の方向性			
拡充	④	②	①																																		
維持	⑤	③																																			
縮小	⑥																																				
休廃止	⑦																																				
削減																																					
縮小																																					
維持																																					
拡大																																					
コスト投入の方向性																																					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

事業コード	450210		担当課	農林水産課	担当係	農地係				
事務事業名	鳥坂大橋維持管理事業			事業年度	令和元年度		会計区分	一般会計		
基本政策	4	生活基盤	事業コード	大	45	地域交通	予算科目	款	06	農林水産業費
施策	21	地域交通		中	02	安全で快適な道路ネットワークの整備		項	01	農業費
				小	10	鳥坂大橋維持管理事業		目	09	農地費
事務区分	法定受託事務		○	根拠法令						
	法令による義務付け			関連条例				関連計画		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	鳥坂大橋の維持管理を行い、機能と安全を確保する。	
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震診断委託</li> <li>電気料</li> </ul>	
実施方法	市が直接実施+委託	

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	1,587	254	8,602	348	
国・県支出金	0	0	8,400	0	
地方債	0	0	0	0	
その他	15	15	15	15	
一般財源	1,572	239	187	333	
人件費（千円）	18	19	19		
正(h) ※事業費	10	10	10		
臨時(h) ※事業費	0	0	0		
総事業費+人件費	1,605	273	8,621		
財源「その他」内訳	占用料15千円				
事業費の主な支出内容	委託料 8,413千円				

3 指標値の状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	清掃・修繕件数	清掃・修繕件数	-	清掃・修繕件数	清掃・修繕件数
	目標	2件	1件	-	1件	1件
	実績	2件	1件	-		
成果指標	名称	維持管理の実施率	維持管理の実施率	-	維持管理の実施率	維持管理の実施率
	目標	100%	100%	-	100%	100%
	実績	100%	100%	-		
	目標比	100.0%	100%	-		

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	◎	◎	◎		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
達成度の判定理由	パトロール等の実施により、橋梁の機能と安全は確保できた。				

5 事業の点検項目

妥当性	事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか	○			
	○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い				
	施策の目標に対してこの事業が貢献しているか	○			
効率性	○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない				
	類似した事業が実施されていないか	×			
	○：類似事業がない ×：類似事業がある				
実施	住民等の参画、協働は可能か	×			
	○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済				
	民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か	実施			
実施	○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済				
	協働または民間への外部化が不可能な理由				
	事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か	○			
実施	○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要				
	事業費や人件費に削減の余地はないか	○			
	○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり				
実施	受益者負担は事業コストに対して適正か	-			
	○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない				
	単位コスト				
算出方法	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	実績				

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

(該当なし)	
--------	--

7 事業の方向性（案）

今後の方向性	③
課題	鳥坂大橋の機能を維持し、安全を確保するために今後も維持管理を継続することが必要である。耐震調査の結果は「橋脚の全部材で耐震性能が不足している」というもので、震度5強以上の地震が発生した場合、橋脚破壊を起こす可能性を示している。造成時の設計基準では耐震に関する計算が行われているため、上述の場合に必ず橋脚破壊を起こすというものではないが、今後は路線及び添架物の重要性を踏まえ、対策方法などを決定する必要がある。

8 二次評価

今後の方向性	③			
所見				
今後の方向性				
成果の方向性	拡充	④	②	①
	維持	⑤	③	
	縮小	⑥		
	休廃止	⑦		
コスト投入の方向性	削減			
	縮小			
	維持			
	拡大			

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

事業コード	450220		担当課	地域整備課	担当係	管理係				
事務事業名	道路維持管理事業			事業年度	令和元年度		会計区分	一般会計		
基本政策	4	生活基盤	事業コード	大	45	地域交通	予算科目	款	08	土木費
施策	21	地域交通		中	02	安全で快適な道路ネットワークの整備		項	02	道路橋梁費
				小	20	道路維持管理事業		目	02	道路維持費
事務区分	法定受託事務		○	根拠法令	道路法					
	法令による義務付け			関連条例			関連計画			

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	住民の暮らしに密着した重要な社会インフラの一つである市道を安全かつ円滑に通行できる状態に保つことを目的とする。市道の不具合を、道路パトロールによる発見や地区区長・住民からの連絡を受けた際、現場確認・応急処置を行い業者等による補修を行う。
主な実施内容	市道の維持管理 ・補修用常温混合物を使用しての応急処置 ・舗装・補修工事 ・道路排水施設補修・改修工事 ・区画線修繕 ・路肩除草作業
実施方法	市が直接実施＋委託

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	40,143	35,635	42,541	30,428	
国・県支出金	0	0	0	0	
地方債	7,900	0	0	0	
その他	0	0	0	15,453	
一般財源	32,243	35,635	42,541	14,975	
人件費（千円）	0	0	0		
正(h) ※事業費	0	0	0		
臨時(h) ※事業費	6,244	6,258	6,433		
総事業費＋人件費	40,143	35,635	42,541		
財源「その他」内訳	修繕費 2,459千円、道路補修工事費 15,329千円 等				
事業費の主な支出内容					

3 指標値の状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	道路等修理箇所数 ①補修 ②修繕	道路等修理箇所数 ①補修 ②修繕	道路等修理箇所数 ①補修 ②修繕	道路等修理箇所数 ①補修 ②修繕	道路等修理箇所数 ①補修 ②修繕
	目標	①120件 ②30件	①120件 ②20件	①120件 ②40件	①120件 ②40件	①120件 ②40件
	実績	①90件 ②10件	①294件 ②22件	①94件 ②38件		
成果指標	名称	道路維持に関する苦情等の初期対応率	道路維持に関する苦情等の初期対応率	道路維持に関する苦情等の初期対応率	道路維持に関する苦情等の初期対応率	道路維持に関する苦情等の初期対応率
	目標	100%	100%	100%	100%	100%
	実績	97%	95%	95%		
	目標比	97.0%	95.0%	95.0%		

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
達成度	○	○	○		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
達成度の判定理由	道路パトロールでは発見できない修繕箇所について、区長をはじめとする住民からの連絡等により、早急に補修等を行うことで、通行の安全性が確保できている。				

5 事業の点検項目

妥当性	事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか ○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い	○			
	施策の目標に対してこの事業が貢献しているか ○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない	○			
	類似した事業が実施されていないか ○：類似事業がない ×：類似事業がある	○			
効率性	住民等の参画、協働は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	△			
	民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	一部実施			
	協働または民間への外部化が不可能な理由				
単位コスト	事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か ○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要	△			
	事業費や人件費に削減の余地はないか ○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり	○			
	受益者負担は事業コストに対して適正か ○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない	-			
算出方法	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
実績					

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

- 道路の老朽化に関連する地区からの要望等が年々増加しており、経費削減を考慮したうえで簡易的に補修できる箇所に関しては、可能な限り職員が対応しているが、応急処置だけでは通行の安全性を確保することが難しい箇所が増えている。
- 昨年度、道路パトロールや地区からの要望を基に「市道修繕計画」を策定し、今年度より計画的に修繕を実施している。

7 事業の方向性（案）

今後の方向性	③
課題及び改善後の対応	・道路パトロールの実施により、地区区長や住民からの補修依頼数は減少しているが、道路パトロールの精度や職員の意識を向上させることが必要である。 ・担当課の職員だけではなく、全職員から連絡してもらえるよう通報体制を強化する。

8 二次評価

今後の方向性	③			
所見	拡充	④	②	①
	維持	⑤	③	
	縮小	⑥		
	休廃止	⑦		
	削減			
コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

事業コード	450221		担当課	地域整備課	担当係	土木係				
事務事業名	市道関係整備事業（土木係）			事業年度	令和元年度		会計区分	一般会計		
基本政策	4	生活基盤	事業コード	大	45	地域交通	予算科目	款	08	土木費
施策	21	地域交通		中	02	安全で快適な道路ネットワークの整備		項	02	道路橋梁費
				小	21	市道関係整備事業（土木係）		目	03	道路新設改良費
事務区分	法定受託事務		○	根拠法令	道路法					
	法令による義務付け			関連条例				関連計画		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	地区要望を踏まえ、道路交通の円滑化・安全な歩行者空間・道路排水等の改善を図るための道路整備を行う。	
主な実施内容	道路改良工事	5路線 L=434.0m
	舗装新設工事	2路線 L=430.0m
	側溝新設改良工事	8路線 L=532.1m
	道路融雪施設工事	4路線 L=965.9m
	道路事業測量設計等委託	10件
	道路事業用地購入	150.13㎡
	道路事業物件補償	1件
実施方法	市が直接実施+委託	

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	192,246	216,842	159,820	117,976	
国・県支出金	32,512	32,390	31,777	24,540	
地方債	132,400	179,400	107,000	80,300	
その他	0	0	0	0	
一般財源	27,334	5,052	21,043	13,136	
人件費（千円）	7,953	8,018	8,204		
正(h) ※事業費	4,320	4,320	4,320		
臨時(h) ※事業費	0	0	0		
総事業費+人件費	200,199	224,860	168,024		
財源「その他」内訳					
事業費の主な支出内容	工事請負費	106,647千円			
	委託料	6,763千円			
	用地購入費	1,690千円			
	物件補償費	629千円			

3 指標値の状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	当該年度に実施した工事箇所数	当該年度に実施した工事箇所数	当該年度に実施した工事箇所数	当該年度に実施した工事箇所数	当該年度に実施した工事箇所数
	目標	26箇所	26箇所	44箇所	12箇所	12箇所
	実績	35箇所	23箇所	19箇所		
成果指標	名称	地区要望箇所数に対する工事着手箇所数	地区要望箇所数に対する工事着手箇所数	地区要望箇所数に対する工事着手箇所数	地区要望箇所数に対する工事着手箇所数	地区要望箇所数に対する工事着手箇所数
	目標	50%	50%	50%	50%	50%
	実績	38.40%	39.60%	40.06%		
	目標比	76.8%	79.2%	80.1%		

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
達成度	△	△	△		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
達成度の判明理由	地区要望は年平均約22箇所となっている中で緊急度、危険性を考慮し、整備しているが、成果指標が目標に対して低いため記載の達成度とした。				

5 事業の点検項目

妥当性	事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか	○			
	○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い				
	施策の目標に対してこの事業が貢献しているか	○			
	○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない				
	類似した事業が実施されていないか	○			
	○：類似事業がない ×：類似事業がある				
効率性	住民等の参画、協働は可能か	△			
	○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済				
	民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か	×			
	○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済				
単位コスト	協働または民間への外部化が不可能な理由				
	事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か	△			
	○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要				
	事業費や人件費に削減の余地はないか	○			
単位コスト	○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり				
	受益者負担は事業コストに対して適正か	-			
	○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない				
算出方法	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
実績					

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

（本事業以外の）既存道路設備の老朽化に伴う大規模な更新費用（維持管理費用）も必要であり、（他の事業である）スマートIC整備事業に多額の費用を要することから、限られた財源を有効利用するため、緊急性及び公益性を勘案しながら、市民の意向を十分に把握し地域の要望に応えるとともに、合わせて本事業のコストの縮減に努めてきた。

7 事業の方向性（案）

今後の方向性	③
課題及び今後の対応	・交通安全対策や生活環境改善など地域の実情に根差した道路整備として今後も継続して本事業を進めていく必要がある。道路改良等に対する市民要望が多く寄せられていることから、これ以上の縮小は困難と思われる。 ・道路改良工事・舗装新設工事・側溝新設改良工事・道路融雪施設工事を比べると、道路融雪施設工事は機械除雪により道路機能の確保が可能であることから優先度が低いと捉え他の工事を優先したい。 ・事業費確保のため、補助金等の特定財源を活用し事業を進めていくとともに、引き続き国県への要望を行う。

8 二次評価

今後の方向性	③																										
所見	今後の方向性	③																									
	成果の方向性	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>×</td> <td>④</td> <td>②</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td>⑤</td> <td>③</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td>⑥</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>⑦</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> </table>	拡充	×	④	②	①	維持	×	⑤	③	×	縮小	×	⑥	×	×	休廃止	⑦	×	×	×		削減	縮小	維持	拡大
	拡充	×	④	②	①																						
	維持	×	⑤	③	×																						
	縮小	×	⑥	×	×																						
休廃止	⑦	×	×	×																							
	削減	縮小	維持	拡大																							
コスト投入の方向性																											

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

事業コード	450223		担当課	地域整備課	担当係	管理係				
事務事業名	市道関係整備事業（管理係）		事業年度	令和元年度		会計区分	一般会計			
基本政策	4	生活基盤	事業コード	大	45	地域交通	予算科目	款	08	土木費
施策	21	地域交通		中	02	安全で快適な道路ネットワークの整備		項	02	道路橋梁費
				小	23	市道関係整備事業（管理係）		目	03	道路新設改良費
事務区分	法定受託事務		○	根拠法令	道路法					
	法令による義務付け			関連条例			関連計画			

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	市民が安全に通行できるよう道路環境を整備する。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路事業測量設計等委託料1箇所</li> <li>舗装新設工事3路線</li> <li>道路融雪施設工事2箇所</li> </ul>
実施方法	市が直接実施+委託

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	-	-	64,116	97,700	
国・県支出金	-	-	18,654	33,600	
地方債	-	-	42,200	60,000	
その他	-	-	0	0	
一般財源	-	-	3,262	4,100	
人件費（千円）	-	-	0		
正(h) ※事業費	-	-	0		
臨時(h) ※事業費	-	-	0		
総事業費+人件費	-	-	64,116		
財源「その他」内訳	委託料9,130千円、工事請負費54,716千円				
事業費の主な支出内容					

3 指標値の状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称			当該年度に実施した工事箇所数	当該年度に実施した工事箇所数	当該年度に実施した工事箇所数
	目標			6箇所	6箇所	6箇所
	実績			6箇所		
成果指標	名称			地区要望箇所数に対する工事着手箇所数	地区要望箇所数に対する工事着手箇所数	地区要望箇所数に対する工事着手箇所数
	目標			50%	50%	50%
	実績			8.3%		
	目標比			16.6%		

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
達成度			×		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
達成度の判定理由	地区要望箇所が多い中で緊急度、危険性を考慮して整備を行っているが、成果指標が目標に対して低いため記載の達成度とした。				

5 事業の点検項目

妥当性	事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか ○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い	○			
	施策の目標に対してこの事業が貢献しているか ○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない	○			
	類似した事業が実施されていないか ○：類似事業がない ×：類似事業がある	○			
効率性	住民等の参画、協働は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	一部実施			
	民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	×			
	協働または民間への外部化が不可能な理由 道路法により道路管理者が維持修繕し、一般交通に支障がないよう努めなければならないため。				
単位コスト	事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か ○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要	△			
	事業費や人件費に削減の余地はないか ○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり	○			
	受益者負担は事業コストに対して適正か ○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない	-			
算出方法	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
実績					

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

[R1]

- 測量設計 1箇所（村松浜地内）
- 舗装工事 3箇所L=547.0m（山王・中村浜線、鼓岡川原線、坪穴錨田2号線）
- 融雪施設工事2箇所 井戸堀替1箇所（東本町・大川町・十二林線）  
配管替1箇所L=211.45m（本町・半山線）

7 事業の方向性（案）

今後の方向性	③
課題及び今後の改善方法の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体的に道路施設の老朽化が進んでいる。毎年舗装補修工事等を行っているが、財政状況等によりその面積は限られているため、安全で良好な道路は減少している。</li> <li>限られた財源を有効活用するため、道路施設の老朽化を考慮しながら、市民の意向を十分に把握し、予防保全での管理を行いコスト削減に努める。</li> <li>引き続き国県へ補助金などに関する要望を行う。</li> </ul>

8 二次評価

今後の方向性	③																									
所見																										
今後の方向性	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>×</td> <td>④</td> <td>②</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td>⑤</td> <td>③</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td>⑥</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>⑦</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td></td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> </table>	拡充	×	④	②	①	維持	×	⑤	③	×	縮小	×	⑥	×	×	休廃止	⑦	×	×	×	削減		縮小	維持	拡大
拡充	×	④	②	①																						
維持	×	⑤	③	×																						
縮小	×	⑥	×	×																						
休廃止	⑦	×	×	×																						
削減		縮小	維持	拡大																						
コスト投入の方向性																										

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

事業コード	450222		担当課	地域整備課	担当係	管理係				
事務事業名	橋梁維持事業		事業年度	令和元年度		会計区分	一般会計			
基本政策	4	生活基盤	事業コード	大	45	地域交通	予算科目	款	08	土木費
施策	21	地域交通		中	02	安全で快適な道路ネットワークの整備		項	02	道路橋梁費
				小	22	橋梁維持事業		目	04	橋梁維持費
事務区分	法定受託事務		〇	根拠法令	道路法					
	法令による義務付け			関連条例			関連計画	橋梁長寿命化修繕計画		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	市道橋290橋の橋梁を安心・安全に保つために定期点検を行い、損傷が軽微なうちに補修や補強を行うことで橋梁の寿命を延ばし大規模修繕を抑制することが目的である。 道路法第24条第1項の規定による、橋梁維持補修による損傷（老朽化）に対して、その機能と安全を確保する。	
主な実施内容	市道橋の維持管理 ・橋梁長寿命化修繕計画策定 ・橋梁補修・修繕工事 4橋	
実施方法	市が直接実施+委託	

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	22,259	30,970	11,228	28,295	
国・県支出金	10,855	12,400	3,850	14,850	
地方債	0	0	0	3,400	
その他	0	0	0	0	
一般財源	11,404	18,570	7,378	10,045	
人件費（千円）	0	0	0		
正(h) ※事業費	0	0	0		
臨時(h) ※事業費	0	0	0		
総事業費+人件費	22,259	30,970	11,228		
財源「その他」内訳	橋梁長寿命化修繕計画策定業務委託 7,491千円 橋梁補修工事 3,542千円				
事業費の主な支出内容					

3 指標値の状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	橋梁数	橋梁数	橋梁数	橋梁数	橋梁数
	目標	308橋	290橋	290橋	290橋	290橋
	実績	308橋	290橋	0橋		
成果指標	名称	年次点検橋梁数	年次点検橋梁数	年次点検橋梁数	年次点検橋梁数	年次点検橋梁数
	目標	91橋	91橋	0橋	65橋	75橋
	実績	96橋	68橋	0橋		
	目標比	105.5%	74.7%	-		

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
達成度	◎	◎	◎		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
達成度の判定理由	近接目視による橋梁点検は、年次計画により計画通りに実施されている。胎内市は4年間で全橋梁の点検が終了したため、令和元年度は橋梁長寿命化修繕計画策定を行い、橋梁点検は実施しなかった。				

5 事業の点検項目

妥当性	事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか ○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い	○
	施策の目標に対してこの事業が貢献しているか ○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない	○
	類似した事業が実施されていないか ○：類似事業がない ×：類似事業がある	○
実施	住民等の参画、協働は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	×
	民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	実施
	協働または民間への外部化が不可能な理由 点検内容は国基準で行わなければならない、複雑で専門的な知識が必要であるため不可能と思われる。	
効率性	事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か ○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要	△
	事業費や人件費に削減の余地はないか ○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり	○
	受益者負担は事業コストに対して適正か ○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない	-
単位コスト	算出方法	
	実績	平成29年度 平成30年度 令和元年度 令和2年度 令和3年度

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

・平成26年7月の道路法改正に伴い橋梁の点検方法が見直され、5年に1度の近接目視による点検が義務付けられ、平成30年度までに全市道橋の点検を実施した。  
この点検結果により、橋梁の健全度を国基準で判定し修繕計画の作成を行い、国の補助を受けて修繕を実施している。  
・昨年度は橋梁長寿命化修繕計画策定を行ったため、橋梁点検は行っておらず、今年度から順次行う予定である。  
・胎内市の市道橋は羽越水害後に建設された橋が多く、経年劣化が著しいため、今後も国の補助制度を活用し、修繕していかなければならない。  
※令和2年度は65橋の橋梁点検を実施予定

7 事業の方向性（案）

今後の方向性	③
課題及び今後の対応	・2巡目の法令点検と、昨年度に策定した「橋梁長寿命化修繕計画」に沿って修繕を実施し、市民の安全な交通を確保していく。 ※令和3年度橋梁点検予定 75橋（15m以上14橋、15m以下61橋）18,727千円 ※令和3年度橋梁修繕予定 8橋（修繕4橋、詳細設計4橋）20,408千円

8 二次評価

今後の方向性	③																																													
所見																																														
今後の方向性	<table border="1"> <tr> <td>成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>④</td> <td>②</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td></td> <td>維持</td> <td>⑤</td> <td>③</td> <td>④</td> </tr> <tr> <td></td> <td>縮小</td> <td>⑥</td> <td>⑦</td> <td>⑧</td> </tr> <tr> <td></td> <td>休廃止</td> <td>⑦</td> <td>⑧</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>⑧</td> <td>⑨</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td></td> <td>縮小</td> <td>⑨</td> <td>⑩</td> <td>⑪</td> </tr> <tr> <td></td> <td>維持</td> <td>⑩</td> <td>⑪</td> <td>⑫</td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡大</td> <td>⑪</td> <td>⑫</td> <td>⑬</td> </tr> <tr> <td colspan="5">コスト投入の方向性</td> </tr> </table>	成果の方向性	拡充	④	②	①		維持	⑤	③	④		縮小	⑥	⑦	⑧		休廃止	⑦	⑧	⑨		削減	⑧	⑨	⑩		縮小	⑨	⑩	⑪		維持	⑩	⑪	⑫		拡大	⑪	⑫	⑬	コスト投入の方向性				
成果の方向性	拡充	④	②	①																																										
	維持	⑤	③	④																																										
	縮小	⑥	⑦	⑧																																										
	休廃止	⑦	⑧	⑨																																										
	削減	⑧	⑨	⑩																																										
	縮小	⑨	⑩	⑪																																										
	維持	⑩	⑪	⑫																																										
	拡大	⑪	⑫	⑬																																										
コスト投入の方向性																																														

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

事業コード	450310		担当課	地域整備課	担当係	管理係				
事務事業名	除排雪事業			事業年度	令和元年度		会計区分	一般会計		
基本政策	4	生活基盤	事業コード	大	45	地域交通	予算科目	款	08	土木費
施策	21	地域交通		中	03	冬の移動を確保する除排雪の実施		項	02	道路橋梁費
				小	10	除排雪事業		目	02	道路維持費
事務区分	法定受託事務		○	根拠法令	道路法					
	法令による義務付け			関連条例			関連計画			

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	道路法第42条の規定により、胎内市道路除雪計画を策定し、計画に基づき除雪対策に努める。
主な実施内容	冬季間の降雪時における道路除雪による道路交通の確保。
実施方法	市が直接実施+委託

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	465,275	271,543	173,502	171,623	
国・県支出金	88,711	66,278	64,747	121,500	
地方債	0	0	0	0	
その他	0	0	0	1	
一般財源	376,564	205,265	108,755	50,122	
人件費（千円）	0	0	0		
正(h) ※事業費	0	0	0		
臨時(h) ※事業費	1,260	981	0		
総事業費+人件費	465,275	271,543	173,502		
財源「その他」内訳	光熱水費9,869千円、修繕費6,281千円 除排雪委託料93,542千円、除雪車等借上料47,700千円				
事業費の主な支出内容					

3 指標値の状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	①機械除雪延長 ②消雪パイプ延長	①機械除雪延長 ②消雪パイプ延長	①機械除雪延長 ②消雪パイプ延長	①機械除雪延長 ②消雪パイプ延長	①機械除雪延長 ②消雪パイプ延長
	目標	①255.9km ②39.4km	①257.4km ②41.0km	①257.4km ②41.0km	①257.4km ②41km	①257.4km ②41km
	実績	①255.9km ②39.4km	①257.4km ②41.0km	①257.4km ②41.7km		
成果指標	名称	市道除雪計画に基づく除雪完了率	市道除雪計画に基づく除雪完了率	市道路除雪計画に基づく除雪完了率	市道路除雪計画に基づく除雪完了率	市道路除雪計画に基づく除雪完了率
	目標	100%	100%	100%	100%	100%
	実績	100%	100%	100%		
	目標比	100.0%	100.0%	100.0%		

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
達成度	◎	◎	◎		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
達成度の判定理由	冬季間の道路除雪において、出動業者が全て除雪を完了している。				

5 事業の点検項目

妥当性	事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか ○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い	○
	施策の目標に対してこの事業が貢献しているか ○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない	○
	類似した事業が実施されていないか ○：類似事業がない ×：類似事業がある	○
実施	住民等の参画、協働は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	×
	民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	実施
	協働または民間への外部化が不可能な理由	
効率性	事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か ○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要	○
	事業費や人件費に削減の余地はないか ○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり	○
	受益者負担は事業コストに対して適正か ○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない	-
単位コスト	算出方法	
	実績	平成29年度 平成30年度 令和元年度 令和2年度 令和3年度

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

・除雪マニュアルを作成したことにより、出動態勢の明確化や職員による除雪パトロール時における除雪要請等判断が一定となりつつある。
---

7 事業の方向性（案）

今後の方向性	③
課題及び今後の対応	・除雪出動の徹底管理を行うことにより、必要最低限の除雪出動に抑え、費用削減を図る。 ・除雪の状況や地域の意見を反映させ、除雪マニュアルの見直しを随時行う。 ・人手不足により、除雪から撤退する業者が増えているため、現在委託している業者や新規業者等に依頼し、冬期間の道路交通を確保する。

8 二次評価

今後の方向性	③			
所見				
成果の方向性	拡充	④	②	①
	維持	⑤	③	
	縮小	⑥		
	休廃止	⑦		
		削減	縮小	維持
コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

事業コード	450411		担当課	総合政策課	担当係	企画政策係				
事務事業名	地域公共交通活性化事業		事業年度	令和元年度		会計区分	一般会計			
基本政策	4	生活基盤	事業コード	大	45	地域交通	予算科目	款	02	総務費
施策	21	地域交通		中	04	地域公共交通の利便性の向上と持続可能性の確保		項	01	総務管理費
				小	11	地域公共交通活性化事業		目	06	企画費
事務区分	法定受託事務		○	根拠法令			関連計画	胎内市地域公共交通総合連携計画		
	法令による義務付け			任意	関連条例					

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	デマンドタクシーを中心とした公共交通ネットワークを整備し、多様な人々の移動と交流を支援する。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域公共交通協議会への負担金の交付</li> <li>地域公共交通協議会においてデマンドタクシーの運行业務の実施</li> </ul>
実施方法	市が直接実施＋補助・負担

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総事業費（千円）	50,000	52,000	52,500	50,000	
国・県支出金	0	0	0	0	
地方債	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	
一般財源	50,000	52,000	52,500	50,000	
人件費（千円）	1,473	1,485	1,519		
正(h) ※事業費	800	800	800		
臨時(h) ※事業費	0	0	0		
総事業費＋人件費	51,473	53,485	54,019		
財源「その他」内訳	地域公共交通協議会負担金 52,500千円				
事業費の主な支出内容					

3 指標値の状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
産出指標	名称	デマンドタクシー1日平均運行回数	デマンドタクシー1日平均運行回数	デマンドタクシー1日平均運行回数	デマンドタクシー1日平均運行回数	デマンドタクシー1日平均運行回数
	目標	36回	36回	36回	36回	36回
	実績	36回	36回	36回		
成果指標	名称	デマンドタクシー1日平均利用者数	デマンドタクシー1日平均利用者数	デマンドタクシー1日平均利用者数	デマンドタクシー1日平均利用者数	デマンドタクシー1日平均利用者数
	目標	150人	150人	150人	150人	150人
	実績	153.19人	155.14人	144.88人		
	目標比	102.0%	103.4%	96.6%		

4 達成度

達成度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
達成度	◎	◎	○		
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
達成度の判定理由	年間を通じ、高齢者を中心とする交通弱者から安定的に利用されているが、令和元年度については、冬期の暖冬小雪や新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に伴い利用者が減少した。				

5 事業の点検項目

妥当性	事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか ○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い	○			
	施策の目標に対してこの事業が貢献しているか ○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない	○			
	類似した事業が実施されていないか ○：類似事業がない ×：類似事業がある	○			
	住民等の参画、協働は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	△			
効率性	民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済	△			
	協働または民間への外部化が不可能な理由				
	事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か ○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要	○			
	事業費や人件費に削減の余地はないか ○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり	△			
単位コスト	受益者負担は事業コストに対して適正か ○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない	○			
	算出方法 負担金／デマンドタクシー延べ利用者数〔年間〕（千円）				
実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	0.9	0.9	1		

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

<ul style="list-style-type: none"> <li>デマンドタクシーのパフレットを全戸配布</li> <li>利用促進を目的としたポスター作成・掲示（市内集会所、公共施設、医療機関、商店等）</li> <li>広告掲載（市役所一般封筒、中条大祭朝刊広告）</li> <li>地域のお茶の間サロンにおいて利用方法を説明する出前講座の実施</li> </ul>
---

7 事業の方向性（案）

今後の方向性	②
課題及び今後の対応方法	人口減少や高齢者の免許保有率が上昇している現状において、利用者数を確保・維持し、効率的で持続可能な運営を行うため、利便性向上や効果的な利用促進及びスクールバスとの連携等について、令和元年度に策定した地域公共交通網形成計画に基づき適正に管理・運営を行うとともに庁内検討チームにおいて利用促進策の検討を行う。

8 二次評価

今後の方向性	②				
所見	運行委託と運営委託を一体化し1つの事業者にすることで経費削減が図られるか検討する。				
成果の方向性	今後の方向性	拡充	④	②	①
	維持	⑤	③		
	縮小	⑥			
	休廃止	⑦			
	削減	縮小	維持	拡大	
コスト投入の方向性					